

防災ニュース

No.19

野路自主防災組織事務局
平成23年9月1日
発行責任者 福井太加雄

野路自主防災会

平成23年度活動のあゆみと今後の取り組み

- ◎ 高齢者の福祉対策として「野路わくわくサロン」を毎月第3土曜日に実施しています。
地域の中の居場所づくり、生きがづくり、つながりづくりで参加者が主体的に参加できることがたのしみにつながり、魅力あるサロンとしています。

- ・ 実施は実行委員会で「企画、出演者の要請、会場設営、実行・反省会」で運営しています。
- ・ 実施の内容は、回覧や掲示板で周知しています。



- ◎ 要援護者対策として

- ① 福祉委員(34名)が継続対象者 120世帯に訪問し現況の確認を実施しました。
その際 LED センサーライトを配布し活用頂いています。

- ② 新しい対象者として23年3月末現在で70歳に到達された「高齢者のみのご家庭」を要援護者に指定し訪問記録と「命のボタン」を配布して南消防署にネットサービスの申請をしました。



- ③ 高齢者おひとりさまご家庭との「ホットライン」を構築する活動として、防災福祉委員との連携を深めています。

- ◎ 防災講座を年3回開催し、防災意識の高揚を図ります。
・ 第1回を7月14日に開催、59名が受講しました。

テーマ 東日本大震災に学ぶ
「東日本大震災救援活動に出動しての体験談」
講師 南消防署 佐野副署長



- ◎ 町内全域の消火栓の点検を実施しました。
5月8日に女性消防隊・町内消防団と評議員・町委員が出動し全域の安全確認の点検を実施しました。



- ◎ 普通救命講習会の受講を4月～7月に実施しました
4月24日 9班(御林山)14名が受講
7月10日 女性消防隊15名が受講

- ◎ 災害図上訓練を8月27日(土)に実施しました。
南消防署の指導のもと8月27日(土)に自主防災会のメンバー45名の参加のもと災害時に一人でも多くの人命を救うためには「自分の身は自分で守る」自助や「地域でお互いに助け合う」共助の取り組みを進めることが必要です。防災意識の高揚と地域防災力の強化に取り組むため、災害図上訓練を6グループに分かれ、野路町住宅地区に幅の広い道路や避難場所となる広場・危険の河川・食料を得られるスーパーや病院・医院など書き込む作業を実施しました。



これからの予定

1. 防災講座を10月・2月に予定しています。
2. 町民避難訓練を11月27日(日)に実施します。
3. 路上訓練を新宮神社で1月28日(土)に実施します。
4. 防災ニュースを定期的に発行し活動状況等の周知を行います。
(12月1日 8月末に発行します)
5. 「野路わくわくサロン」10月以降も第3土曜日に開催します。

震源域	マグニチュード (地震の規模)		今後30年以内の 発生確率
	北部 7.1程度	南部 7.5程度	
琵琶湖西岸断層帯による地震	全体7.8程度		1~3%
			ほぼ0%
東南海地震	8.1前後	8.5前後	60~70%
南海地震	8.4前後		60%程度
参考：兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災)	7.3		

大震災発生に備えて

地震発生 そのときどうする

避難場所

各地域で決められた場所を家族で実際に訪れ、確認しておくことが重要。
避難場所は広く、人が多くて分かりにくいケースもあり、『避難場所の中のどの位置で』と家族で申し合わせておくことも大切。
子どもが遊びに出ている場合や家族が離れ離れになっていた場合などの連絡手段も家族で話し合い、確認しておく

玉川学区
広域避難場所

市立玉川小学校
市立玉川中学校
県立玉川高等学校
しが県民芸術創造館

☆ 災害用伝言ダイヤル ... 171

寝室にいたら

布団をかぶって頭を保護

- 揺れが大きいときは、布団を頭からかぶって身を守ります。
- できればベッドの下にもぐり込むが、家具が倒れてこないところに身を伏せます。
- 床には割れたガラスがいっぱい
- 暗闇では、割れた窓ガラスや蛍光灯の破片でけがをします。
- 枕元にはスリッパや懐中電灯、携帯ラジオなどを置いておきましょう。
- 隣近所にひと声をかけて
- 寝たきりや病気の人がいたら、ふだんから隣近所に協力を頼んでおきましょう。応急担架の作り方を知っておくことも必要です。



揺れでどこかに転がってしまうことも。袋に入れて壁やベッドに固定しておきましょう。

カーテン・ふすま

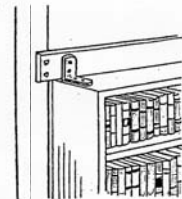
- 天井に燃え移らないよう注意。
- カーテンは引きちぎり、ふすまは蹴り倒してから消火。



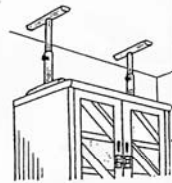
家具は凶器になる

家の中を安全地帯にするためには、家具が倒れたり、物が落下したりしないようにすることが大事です。固定方法は、家具や壁の種類によって工夫しましょう。

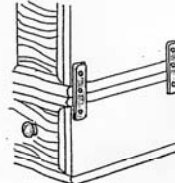
タンス・本棚



柱や壁の中の間柱にL字金具で固定
横木を渡してもよい。



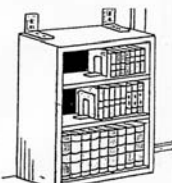
なるべく壁面につける。
壁に固定できない場合は、支え棒で固定



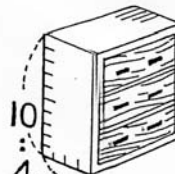
2段重ねの家具は重ねた境の側面を、並行金具で連結



前のめりに倒れてくるので前の方に板を入れ、壁に寄りかからせる。



重い物は下に、軽い物は上に。
なるべく空間をつくらない。すき間はブックエンドで固定



10:4
ソファ家具は倒れやすい。安定した家具
高さ：奥行き=10:4以上

電化製品

コンセントを抜いて感電を防止してから消火。



石油ストーブ

- 真上から一気に水をかける。
- 灯油がこぼれて広がった場合は、毛布などでおおってから水をかける。



台所で料理をしていたら

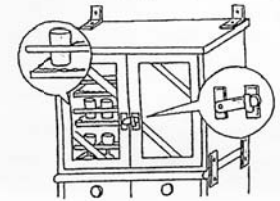
まず火の始末

- ・小さな揺れを感じたら、使っている火を消します。
- ・自分で消せないときは、近くの人に「火を消して!」と呼びかけましょう。
- ・大きな揺れのときは、無理して火を消そうとするとやけどなどをしたりするので、まずテーブルなどの下に身を伏せ、揺れがおさまってから火を消します。
- なるべく早く台所から離れる
- ・食器棚からは食器が、冷蔵庫からは食品が飛び出してきました。
- ・コンロの上の鍋も滑り出てきます。



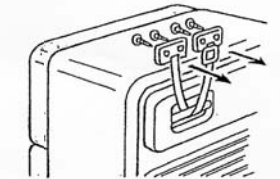
食器棚

- ・壁や柱にL字金具で固定
- ・開き戸には止め金具をつける。
- ・中の食器は滑り止めをする。
- ・ガラス面には飛散防止用フィルムをはる。



冷蔵庫

- ・専用の転倒防止金具もある。

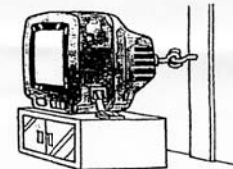


額縁

- ・ガラスがあるので意外と危険
- ・鎖やひもで固定
- ・ガラス面には飛散防止用フィルムをはる。

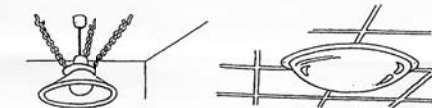
テレビ

- ・家具の上には置かず、なるべく低い位置に。
- ・金魚鉢・花瓶などは置かない。
- ・専用の転倒防止金具もある。



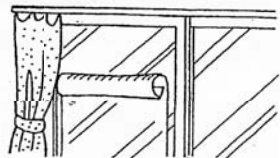
照明器具

- ・天井や壁に直接取りつけるタイプの物が安全
- ・チェーンで天井に3点で固定



ガラス窓

- ・ガラス飛散防止用フィルムや粘着テープをはる。
- ・夜はカーテンを引いて寝る。



ピアノ

- ・専用の転倒防止金具をつける。
- ・厚めのじゅうたんを敷く。

